

一般質問

■災害対応について  
ハザードマップの見直しは重要である。対応状況を伺う。

**質** 災害発生時の事前の備え、これには砂防事業でが威力を発揮すると考える。毎年変化する災害への対応として、ハザードマップの見直しは重要である。的確な対応が取られているのか伺う。

**答** 当市ではこれまでに津波、洪水、土砂災害のハザードマップを作成している。

津波ハザードマップは、令和5年3月に石川県が新たに津波災害警戒区域を公表したことから、今年度更新し、配布する予定としている。

洪水ハザードマップは、令和元年度に水位周知河川である御祓川、二宮川、熊木川の3河川を作成し、今年度はさらに小規模河川の21か所に、御祓川、熊木川の上流部分を合わせて合計23河川の浸水想定区域を県が公表したことから、ハザードマップを作成し、来年度早々には配布予定としている。

土砂災害ハザードマップは、平成25年度に作成しており、令和元年度に作成した洪水ハザードマップにも更新した内容を掲載している。積極的に民間活用を推進していく。



永崎 陽 議員 (新政会)



山花 剛 議員 (無会派)



一般質問

■旧中島中学校跡地について

調査・設計の進捗状況を伺う。

**質** 長年にわたり空き地状況であり、中島町民はもとより、市民の方々からあの空き地は一体どうなっているんだというふうな話をよく聞く。今年度予算に旧中島中学校跡地の調査・設計費が計上されているが、現在の進捗状況を伺う。

**答** 6月上旬に地域の代表者に具体的な利活用計画を聞き取りして、概ね必要な整備規模を確認することができたところである。

そこから導き出される舗装工など、整備規模に基づいて、現在広大な面積から生じる雨水排水の水量の調査と地域内に設置予定の調整池や熊木川への排水計画の策定業務の発注準備を進めているところである。

今後、雨水排水計画がまとまり次第、整備に向けた設計費を確保し、令和6年度予算において整備費を計上できればと考えている。

一般質問

■子ども食堂と子どもの遊び場整備について  
子ども食堂への積極的支援を！  
屋内遊び場整備で地域活性化を！

**質** ①子ども食堂の役割、現状、今後の方針と市独自の支援について伺う。

②屋内の遊び場施設整備について、交流人口拡大を目指す施設とすることが地域活性化に効果があると考えますが、見解を伺う。

**答** ①子ども食堂は、無償または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供する場と認識しており、経済的困窮への対応、地域と親子のつながりを深めること、食育などの学びへの支援、子どものみならず大人の居場所としての役割もあると考える。

現在、市が運営を委託した2団体が定期的に開催し、コミュニティセンターの一部地域では世代間交流を促す目的で開設している。今年度は新たに2団体が県の事業を活用し、開設を検討している。

今後も国や県の補助金を活用して子ども食堂への支援を行い、市独自の支援については関係の方々の方を聞いて検討していく。

②屋内の子どもの遊び場施設整備については児童福祉分科会において必要な施設をしっかりと審議したうえで検討したいと考えている。



瀬戸 三代 議員 (あすなろ)

